

平成30年度 事業報告書

- 1 総会 議
 - (1) 総会(5月20日) 理事会(5月6日)
 - (2) 役員会(8回)
 - (3) 年間事業
 - (1) 第25回菅生学区体育祭(11月4日)
 - (2) 学区民の心のふれあいと連帯感の深化
第19回コミュニティまつり(11月25日)
 - (3) 学区内の各種団体の活動紹介と健康チェック
学区小地域ケア会議(12回)
 - (4) 地域に即した高齢者等の支援体制の調整と推進
第4回菅生川柳大会
 - (5) 「菅生社協だより」第8号の発行(12月25日)
 - (6) 市社会福祉協議会への協力(随時)
 - (7) 高齢者等への友愛訪問(随時)
 - (8) 65歳以上の独居高齢者等への声掛け、見守り
福祉協力委員制度の活動促進と連携
 - (9) 独居高齢者との食事会及び弁当配布(10月24日)
 - (10) 75歳以上の独居高齢者との食事会及び弁当配布
社会福祉施設の訪問と交流(7月14日・12月8日)
 - (11) 特別養護老人ホーム浅原桃花園
 - (4) 菅生地区社会福祉協議会メニュー事業
歳末たすけあい活動
 - (5) カレーの会とお飾り作り(12月23日)
 - (6) 75歳以上の独居高齢者との食事会及び
弁当配布(1月30日)
 - (7) 福祉講演会の開催(10月6日)
 - (8) 福祉講演会「特殊詐欺撲滅を目指し
て・吹奏楽を楽しもう」
 - (9) 住民同士の交流活動
 - (10) 三世代ベタンク大会(11月18日)
 - (11) 住民同士の交流活動
 - (12) 菅生学区体育祭(11月4日)
 - (13) グラウンド・ゴルフ交歓大会(10月26日)
 - (14) 要支援者に対する見守り・支え合い活動(9月上中旬)
 - (15) 80歳以上の高齢者への声掛け、見守り等の訪問活動
- 2 総会
- 3 その他

菅生社協だより

2019年12月25日発行

第9号

発行 藤本幸子
編集 地区社協だより編集部

〔発行〕菅生地区社会福祉協議会

心のふれあいと連帯感を深めながら、
支え合う社会を目指して



民生委員児童委員が
一斉改選されました

任期満了に伴う民生委員児童委員の一斉改選が行われ、本年12月1日に、13名の再任者と5名の新任者が厚生労働大臣から委嘱されました。これから3年間頑張りますのでご理解と協力をよろしくお願いいたします。

担当区域	氏名	新再任別
西坂(下)・西岡	山本和子	再任
西坂(上)	水川 滯	再任
菅生団地・生坂ハイッ	越智 由美子	再任
生坂	上西隆金	再任
生坂(西)	今宮圭子	新任
三田	守屋裕治	再任
浅原	宇野喜和	新任
西岡	大村庸子	再任
西岡	藤井恭子	再任
祐安・青葉団地	守屋尚美	再任
西坂(西坂台)	吉田千寿	再任
西坂(西坂台)	東千代子	新任
宮前	山下隆寛	再任
青江	奥村和典	新任
青江	本村世史子	再任
宮前(花の街)	居倉正則	再任
主任児童委員	内田理香	新任
主任児童委員	清水明美	再任

一年の事業を振り返って



会長 藤本 幸子

平成から令和と年号が変わりましたが、私達菅生地区社会福祉協議会の役員は変わりなく行事を進めてきました。その令和元年もあと残り僅かとなりました。

昨年の災害から1年半が過ぎましたが、まだまだ被災の傷跡が消えません。でも、皆さんは前を向いて日々を暮らしていられます。私達は、その被害の大きかった事を決して忘れてはならないと思います。その為にも備えも心構えも必要と、今年度は、総社市下原・砂古自主防災組織副本部長川田一馬さんに来て頂き自主防災組織の取り組みについて講演をして頂きました。多数の人に来て頂き「明日は我が身」と真剣に聞き、的を得た質問もされていました。

そして、隣近所の横の繋がりが大事だと云うこと、特に将来を担う子ども達とのふれあいやとも大切なことと云うことを学びました

コミュニティまつりと岡山マ

私達くらしき心ほっとサポーターです

くらしき心ほっとサポーターは、精神障害がにに対する偏見除去や心の健康づくりの推進を目指して地域の啓発活動を行っています。今年で発足10周年を迎えました。現在倉敷地区では5つのエリアで活動しています。私達はマスカットエリアで庄、中庄、菅生の3つの学区の集まりに属しています。

菅生では、民主会館祭とコミュニティまつりにおいて啓発したり、倉敷神経科病院の春と秋のイベントに参加し当事者と交流させてもらっています。今は2名で活動していますが来年からは3名になります。お困りのことがおありの方はどうぞお気軽に声をかけて下さい。

小山 紀美子

編集後記

期待に満ちて迎えた令和元年もあと僅かとなりました。「令和最初の...」と日本中がわきました。

しかし反面地球の温暖化によると思われる異常気象が各地で起きています。

日本では千葉、長野等で多くの町が大雨による大水害に見舞われました。また外国では大規模の森林火災も発生しているようです。

早く地球温暖化防止の対策がなされなければと思います。

本「社協だより」も9号の発行となりましたが、皆様方から身近な話題などお寄せ頂ければと思っております。お待ちしております。

令和元年度 福祉講演会に参加して

西日本豪雨・アルミ工場爆発時の 地域住民の避難行動について

【福祉講演会の紹介】

10月5日に菅生小学校で、総社市下原・砂古自主防災組織の川田一馬副本部長による福祉講演会に参加させていただきました。昨年の西日本豪雨とアルミ工場爆発時の自主防災組織を中心とした避難行動について時系列に災害の事象、総社市災害対策本部そして下原・砂古自主防災組織の動きを正確に教えていただき、その場に居るような臨場感さえ感じるほどでした。



【講演会エピソード】

川田さんが講演の終わりちかくで涙ぐまれた一瞬がありました。思わぬ災害に見舞われての苦勞・無念さ、今なお続く復興の大変さからなのか、あれだけの災害に地域の皆で全員無事に乗り越えた安堵感・達成感からなのか、今なお続いている一致団結した順調な復興活動に対するへの満足感からか、きっと後のふたつに違いないと思っています。

【西坂台の被災環境・防災意識の紹介】

私たちの団地は、山の中腹に位置していて90mから150mの高さにあるため浸水の心配はないこと。過去、災害に見舞われた経験のないこともあって、残念ながらほとんどの方は「災害には無縁だろう。」という安心してしまっているのが実態です。しかしながら、浸水はないものの、台風・大雨・大地震による土砂崩れ、家屋倒壊、道路寸断の被災リスクは近年高まっているのは間違いないのです。

【下原・砂古防災組織の活動の特色】

被災された下原・砂古地区では明治26年の大洪水によって大きな被害を経験されたという背景もあるのかもしれませんが、驚きべきことはわずか8年前に設立された自主防災組織が完璧な機能を果たしたという点にあります。

その達成は、夜間含む避難訓練の充実、世帯台帳・講座・クイズ・カルタなどの「いつか必ずくる」と真剣な多種の活動内容に基づくものであることを知ることができました。

【西坂台の防災への反映と決意】

私たちの団地の防災活動では、現在取り組んでいる被災ケース別行動パターンを織り込んだ防災マニュアルの完成を、地域の人たちと相談しながら急ぎたいと思います。そして、皆が災害はいつか必ずくる、防災組織のしっかりとした指示誘導を実行し、それに従って動く。そして命を守る・守れると真剣に思ってもらえるそんな防災意識・活動を作り上げるという決意を新たにしたい一日になりました。

西坂台グリーンライフ
太田 範男

第5回 菅生学区川柳大賞について

今年の菅生学区川柳大賞は、昨年に引き続き子どもの部と一般の部の2部構成で開催しました。子どもの部では今年も菅生小学校の5・6年生に参加して頂きました。今年のテーマは、一般の部が「身近な防災」で、子どもの部が「思いやり」でした。子どもの部は12句の作品、一般の部では60名の方から91句の作品を応募して頂きました。今回もたくさんの方の作品を応募して頂いたため小地域ケア会議委員により厳正な選考を行

い、子どもの部と一般の部でそれぞれ最終選考7作品、合計14作品を選定しました。その最終作品14作品については11月10日(日)に菅生小学校体育館で開催された菅生「コミュニケーション」つりにおいて、「ご来場頂いた方に気に入った作品に投票して頂きました。子どもの部の作品については今年も14作品を佳作として選定し、会場に掲示をしました。昨年以上にたくさんの方に投票を頂きました。表彰式では、小地域は大変盛り上がりしました。表彰式では、小地域

【一般の部】

最優秀賞 (1位)

まさかねえ そんな油断が 命取る

花谷 愛

優秀賞 (2位)

ご近所と 日頃の声かけ 役に立つ

山本 朋子

審査委員特別賞 (3位)

防災は 日頃のつきあい 話し合い

窪田 マサ子

- ・ 逃げるとき お隣さんも 声かけて
- ・ 避難指示 空振り避難 安堵する
- ・ 老いてから とだえぬつきあい 防災に
- ・ 備えあり 心落ち着き すぐ避難

【子供の部】

最優秀賞 (1位)

少しだけ 出した勇気で みな笑顔

石井 利於

優秀賞 (2位)

大丈夫? そのひとことで 救われる

貝原 亜衣梨

審査委員特別賞 (3位)

ありがとう いわれてうれしい 言葉だよ

竹崎 遥飛

- ・ 菅生つ子 やさしい心で 思いやり
- ・ 友達の やさしい言葉 すぐわれた
- ・ 思いやり 次から次へと 広がる輪
- ・ 大丈夫? その一言に はげまされ

「おばあちゃんの応援！」

老人ホーム職員に就職した頃の事！40年前は、老人ホームに若い男の子が就職して来るのは珍しかったようだ。ある日、入所していた「おばあさん」が僕の所へやってきて「仕事は3日・3月・3年！頑張るな！」とエールを送ってくれた。当時、意味は何となく「辞めるなよ！」って位しか分かっていなかった。「3日我慢すれば3カ月は耐えられる。3カ月耐えられれば3年頑張れる。」の忍耐論も現代には違和感があり通用しないようだ。自分探しの就職の旅に出るのも良いが忍耐力も大切なように感じている。若者の違和感も職場を進化させる応援なのかも思っている。

特別養護老人ホーム浅原桃園
施設長 矢吹和弘

ケア会議の小山紀美子会長から賞状と記念品が贈呈されました。式には小学校の藤井校長先生も参加して下さい、受賞された皆さんとても嬉しそうでした。また、菅生小学校、菅生幼稚園、龍昌保育園、わかば保育園の子も達からは、思い思いの表現で模造紙に「思いやり」をテーマに作品を作って頂きました。この作品もまったり当体育館で展示することでたくさんの方にみて頂くことが出来ました。少し難しいテーマでしたが、皆さん一生懸命考えて作ってくれた作品でしたので、皆さんの目にとまり熱心に鑑賞してくださいました。ご協力頂いた皆様ありがとうございました。 倉敷北高齢者支援センター 篠山 寛史

高齢者支援センターについて

今回は高齢者支援センターの活動、役割についてご紹介いたします。
菅生学区には、現在二ヶ所の支援センターと一ヶ所の支援サブセンターがあります。

Table with 2 columns: センター名, 担当区域. Lists support centers like 倉敷中部高齢者支援センター and their respective areas.

また、公民館などで介護予防、転倒予防教室を開催し、教室の参加が難しい方には、介護保険サービスの相談や調整をさせていただきます。

令和元年度 事業計画書

- 1 総会 理事会 役員会
2 年間事業
(1) 第26回菅生学区体育祭 11月3日
(2) 学区民の心のふれあいと連帯感の深化...

独居高齢者との食事を開催して

「一人でいるとしゃべらないから、こうやって皆さんと食べるのはとても良いです。美味しいです。」と、おしゃべりしながらいつの間にか完食。「いつもよりたくさん食べた」と皆さん笑顔で。



小春日和の穏やかな天気にも恵まれ、担当する方の半数の方が今回の食卓会に集まってくれました。
高年齢者支援センターや、菅生地区社協、町内会、愛育委員の方々と一緒に「脳トレ」から始まった食卓会は、凝った趣向こそ無いものの、和やかで笑顔あふれる楽しい会になりました。

令和元年度 収支予算書

Table with 3 columns: 科目, 予算額, 摘要. Shows financial details for the fiscal year, including income from various sources and expenses for activities.

Table with 3 columns: 科目, 予算額, 摘要. Shows financial details for the fiscal year, including administrative expenses and other costs.

友達と地域のひとと一緒に米作りをしたよ

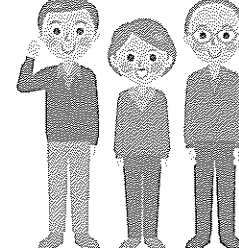
11月8日に脱穀をしました。あお組の子どもたちと、お母さん方と、貝原さんをはじめ地域の方とがんばりました。
今年は小学校から借りた二台に、窪田さんが手に入れてくださった一台を加え、三台の足踏み脱穀機が用意できたので、予定していたよりも早いぶん早く終わることができました。

菅生幼稚園は、今年度、倉敷市人権教育研究協議会の研究指定を受けています。
研究テーマを「人権感覚の芽生えを育む幼稚園での指導の在り方」と設定し、米作りなどの体験活動や遊び方を充実させることを通じて研究テーマに迫りたいと考えています。



菅生地区社会福祉協議会役員名簿

- 会長 藤本 幸子
副会長 江國 耕輔
庶務 水川 滯
理事 山内 宣夫
監事 石原 仗一

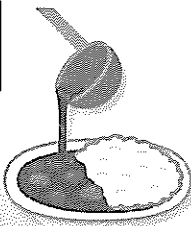


令和 元年 こんな一年でした

・カレーの会とお飾りづくり



来年の家に安全に期待を込めてお飾りを作っています。



カレーは大人も子どもも大好き！何杯もおかわりをしていました。

・学区体育祭

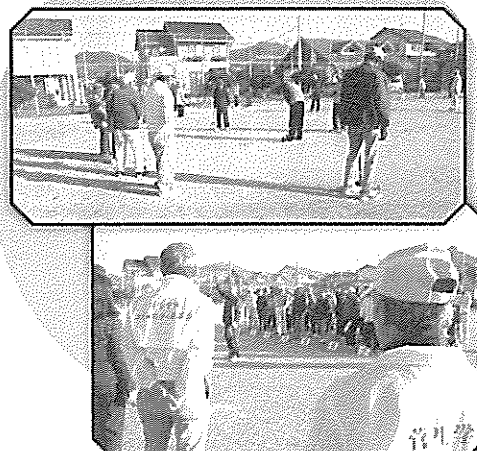


東雲保育園 鼓笛隊

北中吹奏楽

今年はこのチームが優勝するのかな？

・グラウンドゴルフ大会



・福祉講演会

(防災について)



皆さん真剣に聞いていました。

昨年の真備災害について。これからの心構えと備えについての話でした。

▲心ホットサポーターの方です。マスカットエリアのメンバーです。ブルーのポロシャツを覚えてください。

・コミュニティまつり

今年も多数の人達（314人）が来てくださり自分の健康をチェックしていました。



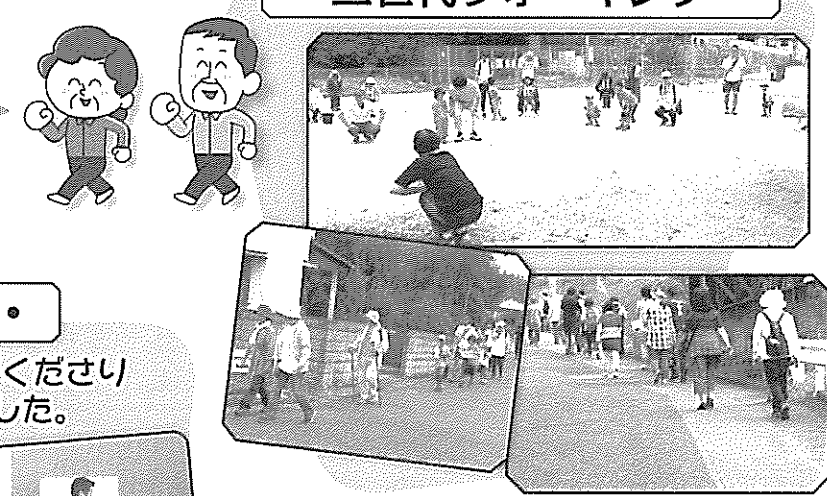
試食をいただきました。

どの川柳が選ばれていくのか？



保育園・幼稚園・小学校各学年の作品です

・三世代ウォーキング

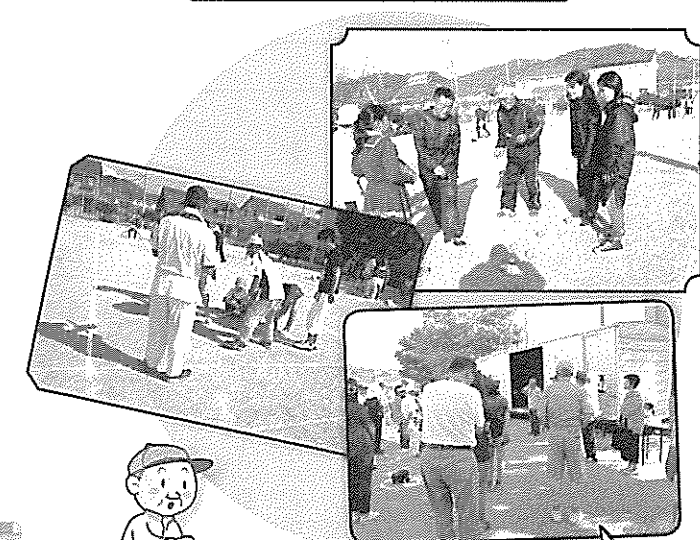


・高齢者との食事会



美味しいお弁当を待っています。楽しいゲームもあるよ。

・ペタンク大会



大人も子どもも楽しんで毎年行っています。